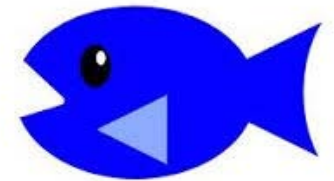


つなみたいさくこうじ

津波対策工事と

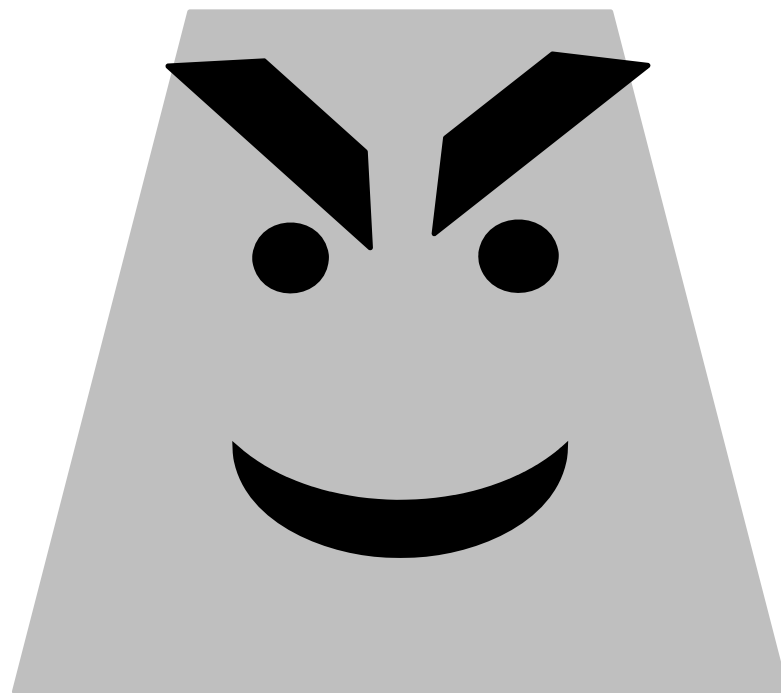
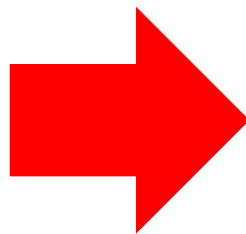
生き物



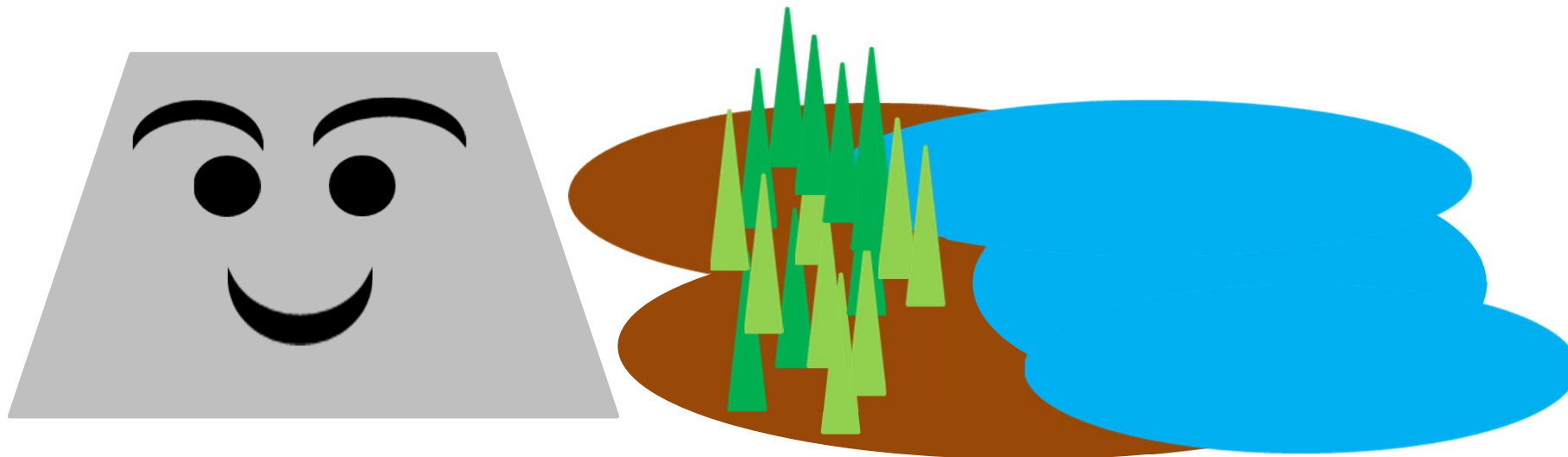
国土交通省 那賀川河川事務所
令和元年11月

つなみたいさくこうじ
津波対策工事って？

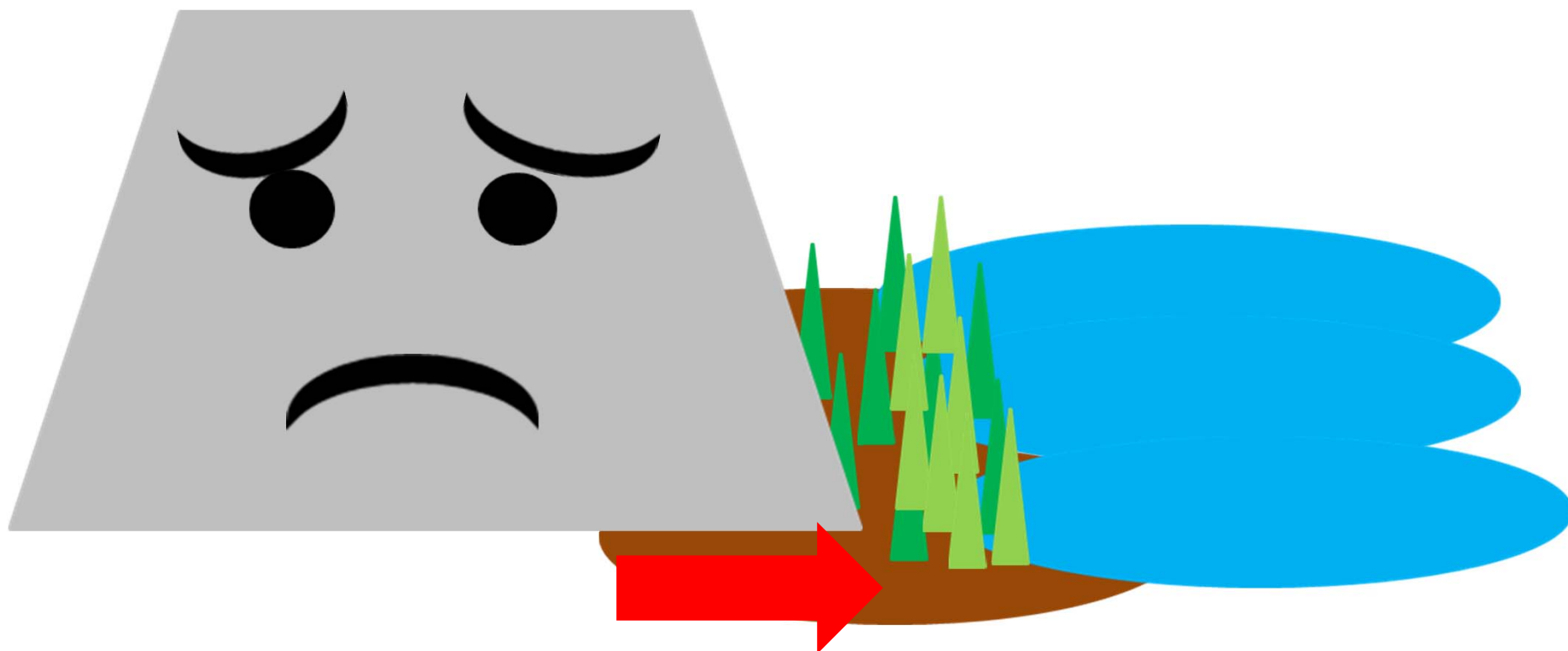
ていぼう おお
堤防を大きくする



こうじまえ ていぼう
工事前の堤防



こうじご ていぼう
工事後の堤防

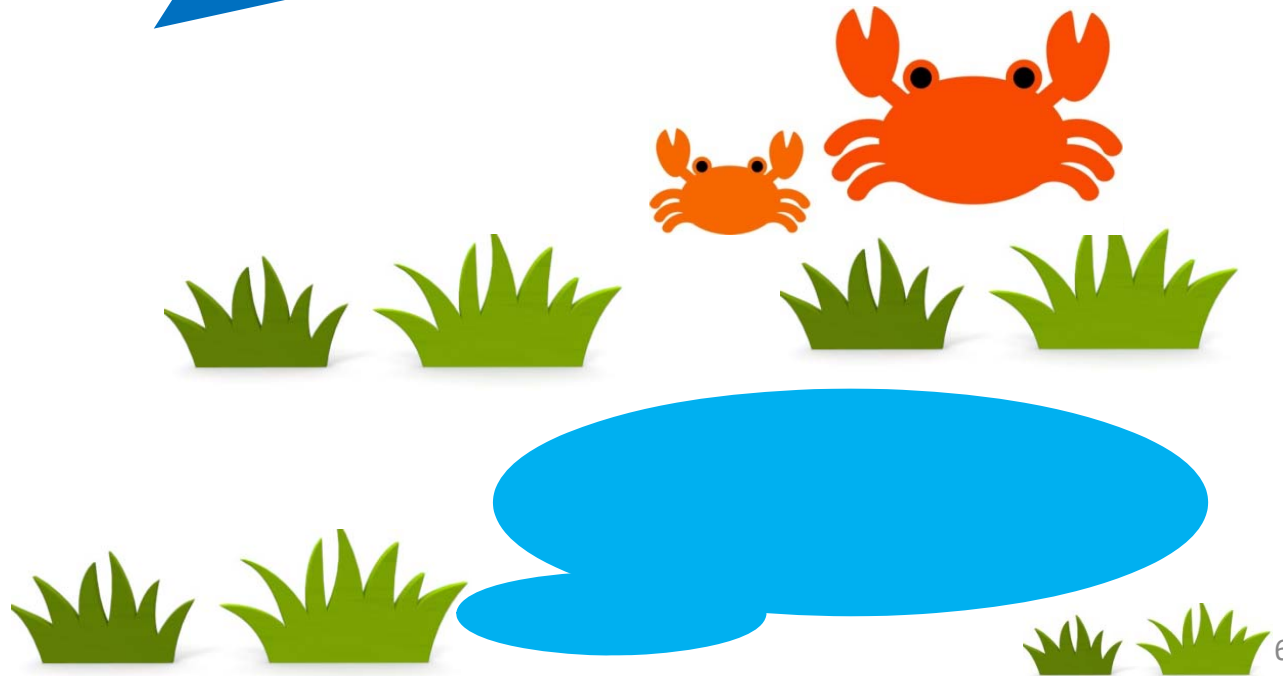
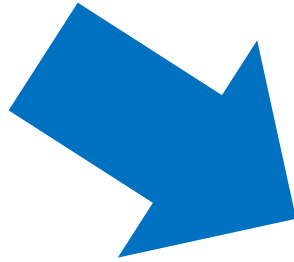


ひがた
干潟をつぶしてしまう

いもの
生き物たちのすみかが減る！！

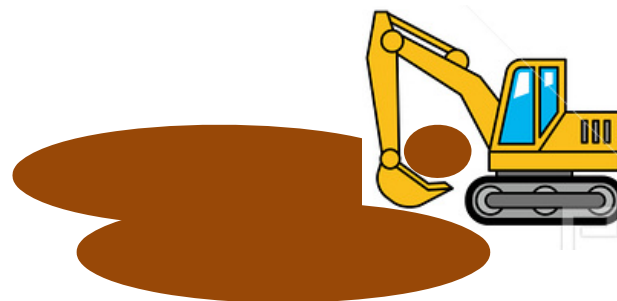


べつ ばしょ く ばしょ
別の場所に暮らせる場所をつくろう！



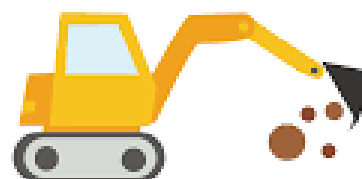
ほ

① 掘る

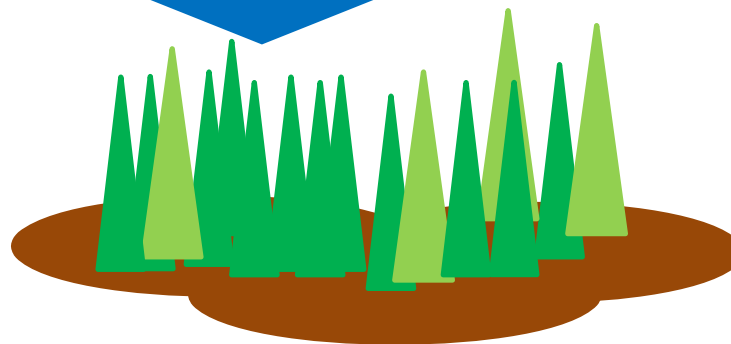


② ^{ばしょ}もとの場所の

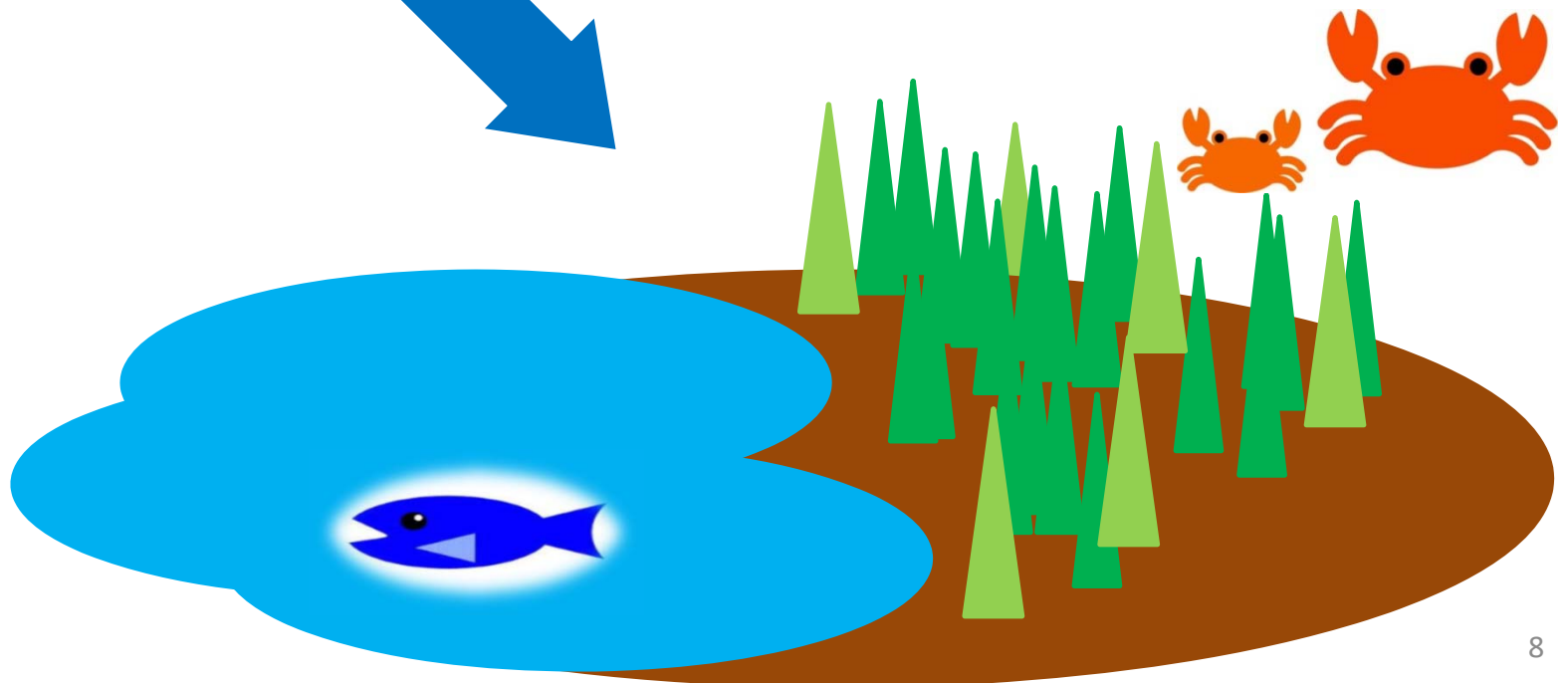
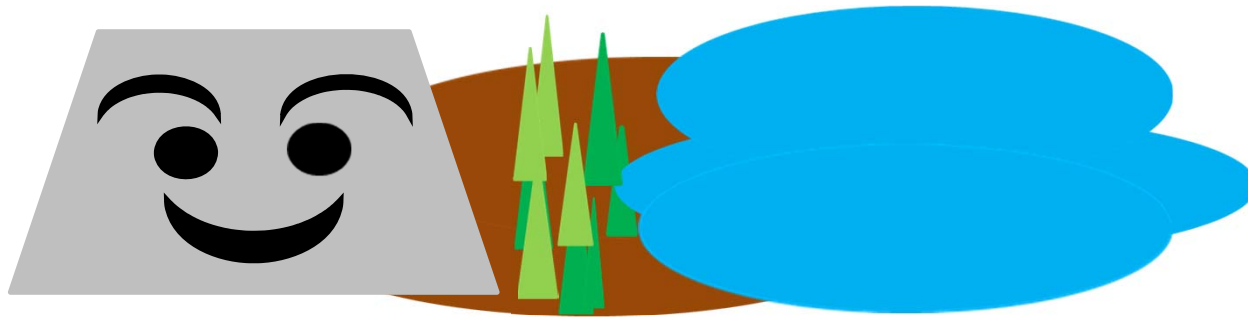
つち い
土を入れる



③ ^う植える



あたら
新しいすみかができた！



こうじ
どこで工事？

こうじかん
工事区間



いもの
生き物たくさん！

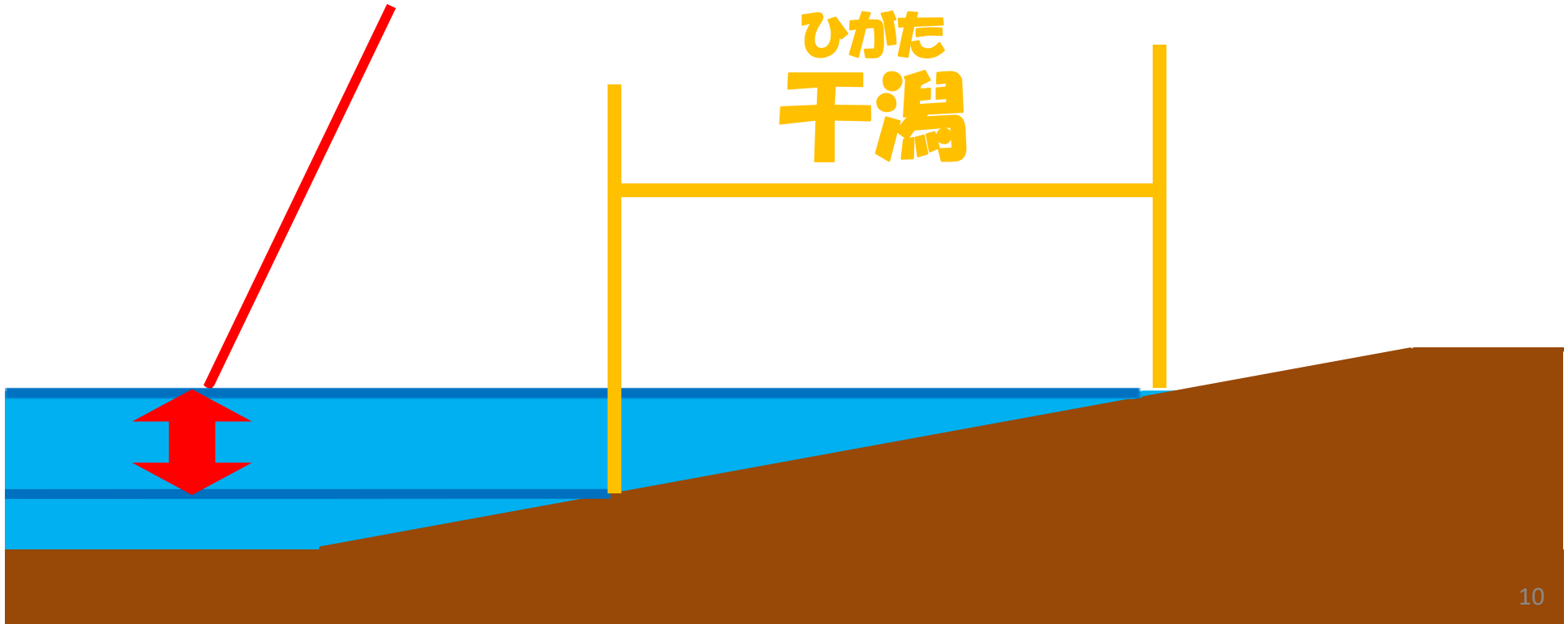
ひがた 干潟



しお み ひ じめん
潮の満ち引きで地面がでてきたい

みず ばしょ
水でおおわれない場所

ひがた
干潟



ひがた ようす 干潟の様子



じめん
地面がでてた！

しお ひ とき
潮が引いた時

しお み とき
潮が満ちた時



みず
水におおわれたよ

す ここに住んでいる生き物たち い もの



- ・泥や砂の混じった干潟に生息する。
- ・春～秋の干潮時には、干潟表面で活発に活動する。
- ・5月下旬～8月中旬に巣穴の中に産卵する。
- ・冬は巣穴の中で越冬する。

トビハゼ



- ・河口付近のシオマネキが生息するような泥干潟に生息する。
- ・5～7月頃、泥の中に掘った穴の中で産卵する。

タビラクチ



- ・浅海域～河口の砂泥質に生息する。
- ・河口域の泥干潟に生息するものはテッポウエビ類の生息孔に隠れていることが多く共生関係にあると示唆されている。

ツマグロスジハゼ



オス

メス

シオマネキ

- ・甲羅には独特の網目模様がある。
- ・オスの片方のハサミは大きくて赤くよく目立つ。
- ・メスのハサミは両方とも小さい。
- ・泥質の干潟に生息している。
- ・各個体の巣穴保有期間は平均4～5日、巣穴移動範囲は4m以内とされている。



オス

**ハクセン
シオマネキ**



メス

- ・シオマネキより小さい。
- ・シオマネキよりも砂分の多い干潟で沢山みられる。
- ・繁殖期は夏季。
- ・オスの片方のハサミは大きくて白い。



- ・大きな巻き貝では殻頂が欠ける。
- ・泥上をはったり、ヨシに登ることもある。
- ・あまい冠水しない高潮帯に生息する。

フトヘナタリガイ



- 体長4cmほど。
- 太いハサミで音を出す。

マングローフテッコウエビ



- ・体は白く半透明で柔らかい。
- ・片方のハサミが大きい。
- ・砂泥質の干潟の底に深さ30～50cmの穴を掘ってすむ。

ニホンスナモグリ



- ・ザリガニに似ているが体は柔らかく褐色(茶色)。
- ・河口域の泥底に棲む。
- ・成長すると数十cmを超える巣穴を掘る。

ヨコヤアナジャコ



ハマサジ



黄色の花

- ・花期(花が咲く時期)は9～11月。
- ・海岸の砂地に生える。
- ・葉は根元に集まってつき長楕円状へら形で、厚くて光沢がある。
- ・黄色の花を咲かす。



- ・海岸近くや塩分のある湿地に咲く。
- ・花期は8～11月。
- ・淡紫色の花を咲かす。

ウラギク



- 暖地の海岸の砂地に生える。
- 茎はよく分岐して高さ20～60cmになる。
- 花期は8～10月。
- 秋には赤く色づく。

ハママツナ



- 川原や沼地などの湿った場所に生える。
- 高さ1～3m。
- アシともいう。

ヨシ



- ・タカの仲間。
- ・主に海岸に生息するが、内陸部の湖沼、広い河川、河口にも生息。
- ・水面をゆっくりと低空飛行する。
- ・主に魚類を食べる。
- ・5～7月に水辺の岩や樹上に木の枝を組んだ巣を作り、2～3個の卵を産む。

ミサゴ



- ・カモメの仲間。
- ・体長約24cm。
- ・巣は川原、砂浜などに集団繁殖地(コロニー)を作り、地面にくぼみを作って2, 3個の卵を産む。
- ・水にダイビングして魚をとらえる様子から鱒刺(あじさし)の名前がつけられたと思われる。

コアジサシ



コチドリ

- ・体長約16cm。
- ・眼の周囲の羽毛が黄色いのが特徴。
- ・海岸や河川の中流域、池、沼、水田等に生息。
- ・昆虫類、ミミスズ類を食べる。
- ・海岸の砂浜などに、浅い窪地を掘り小石や貝殻等を敷いた巣を作り、4～7月に3～4個の卵を産む。
- ・千鳥足と呼ばれるジグザグとした移動と静止を織り交ぜて素早く獲物に詰め寄り捕食する。



- ・体長約42cm。
- ・春に日本に飛んでくる。
- ・長いくちばしを利用して干潟の砂の中のカニ等の甲殻類を食べる。
- ・数羽から数十羽の群れで干潟、水田、川岸等に生息する。

チュウシャクシギ

おわい